

スキルアップセミナー

防災・減災 報告書

社会教育関係職員中堅者等を対象としているセミナー、今年度は「防災・減災」をテーマに、庄内会場と村山会場の2会場で開催しました。

被災地で今も精力的に活動する千川原公彦氏を講師に迎え、能登地震と山形秋田豪雨の被災地の現状をお話いただいた後、ワークショップとして2種類の災害シュミレーションゲームを学びました。

県内も豪雨災害に見舞われた後であったことなどから受講者は皆熱心に取り組んでいました。

- **庄内会場** 令和6年9月13日（金）13:00～16:00
余目第4まちづくりセンター（東田川郡庄内町南野十八軒21-1）
- **村山会場** 令和6年9月20日（金）13:00～16:00（見学会参加の方は16:30頃まで）
東根市西部防災センター（東根市蟹沢1156-4）

ウェザーハート災害福祉事務所 代表

- **講師** **千川原 公彦氏**

● 内容及び日程

	◇受付（12：40～12：55）	◇事務連絡（12：55～13：00）
13：00～ 13：30 (30分)	◆講義「被災地域の救援活動から学ぶ、今私たちがやれること～能登半島地震と山形・秋田豪雨の現場から～」	
13：30～ 15：30 (90分) 途中休憩 有	◆講座＆ワークショップ 「防災・減災講座・イベントの企画と運営のポイント～「クロスロード（災害対応ゲーム）」「HUG（避難所運営ゲーム）」体験とゲーム実施の可能性を考える」 *クロスロードとHUGを体験しながら、各地域での講座にゲームを採り入れる方法や利点、企画や運営のヒントを学ぶ。	
15：30～	班ごとの発表、研修のまとめ、諸連絡、アンケート記入	16：00終了
16：00～	（村山会場の希望者のみ）東根市西部防災センター見学 16：30終了	

講義&ワーク ショップ



千川原先生から、能登半島や県内の豪雨被災地の復興状況や、避難所運営の現実を伺った後、2つのワークショップを体験しました。

はじめに「クロスロード」を行いました。災害に関する具体的な設問について考え、意見を述べ合うゲームです。「そうきたか!」と思う現実的な質問が多いので、受講者は悩みつつも自分の答えを出し、その後グループで意見を出し合いました。

2つ目は「避難所運営ゲームHUG」を、千川原先生が簡略化したものを行いました。運営する避難所に、様々な事情を抱えた市民や物資がやってきて、どのように場所を割り当てていくかを考えるゲームです。受講者はグループで相談しながら、市民や物資に見立てたカードを避難所の見取り図に当てはめていきました。

村山会場では、東根市のご厚意で会場である東根市西部防災センターの施設見学を実施し、防災倉庫や避難所設備等を見学、充実したセミナーとなりました。



アンケートから

- ・避難所の研修を行うにしても、まず私たちがやってみる必要があるし、より知っておく必要があると感じた
- ・新しい形のワークショップを体験できてよかった
- ・防災の必要性を伝える大切さや、ゲームを通しての様々な意見をきくことができた。
- ・防災・減災に対する意識を高める機会となりました。
- ・講義だけでなくワークショップしながら楽しく学べました。
- ・具体的なシチュエーションを与えられて、意見を出し合って考えを深める方法を知ることができて良かったです。